

会報16号

2006年9月発行

磁気と健康

*Information
on The
Magnetic
Health Science
Foundation*

財団法人 磁気健康科学研究振興財団

1. 生体磁気信号で健康を診る 1
(東京電機大学 理工学部 電子情報工学科 教授 内川 義則)

2. 磁気の化粧品への応用に関する調査 3
(山形美容芸術短期大学 美容芸術学科 教授 内堀 毅)
(山形美容芸術短期大学 美容芸術学科 講師 鎌田 正純)

1. 緒言
 2. 磁性物質の化粧品素材としての評価
 - 2-1 安全性
 - 2-2 安定性
 - 2-3 有用性
 - 2-4 使用性
 3. 磁気化粧品の応用に関する現状と展望
 - 3-1 磁気化粧品の活用の現状
 - 3-2 化粧品への活用が期待される磁性素材
- 謝辞

3. 磁気刺激が生体の自律神経、免疫機能に及ぼす影響 7
(東京大学医学部附属病院 リハビリテーション部 医学博士 粕谷 大智)

1. 目的
2. 方法
 - 2-1 磁気における血流促進の機序と疼痛耐性閾値の変化
 - 2-2 ツボを利用した永久磁石の有効性 (むくみ・冷え性)
 - 2-3 ツボを利用した永久磁石の有効性 (慢性腰痛)
3. 結果と考察
 - 3-1 磁気による血流促進及び鎮痛機序の検討
 - 3-2 ツボ刺激と磁気刺激併用の効果分析 (むくみ・冷え性)
 - 3-3 ツボ刺激と磁気刺激併用の効果分析 (慢性腰痛)
4. まとめ